
第 70 回数理社会学会大会 (JAMS70) プログラム (大会前確定版)

日時：2021 年 3 月 8 日 (月) ～3 月 9 日 (火)

会場：オンライン (Zoom)

大会委員長：竹ノ下弘久 (慶應義塾大学)

1 参加費：

一般 (会員) 無料 学生・院生 (会員) 無料
一般 (非会員) 5,000 円 学生・院生 (非会員) 2,000 円

2 懇親会：オンライン上での懇親会を念頭に置いているため、会費はかかりません。

3 参加登録

- ・ 以下の URL に参加登録をお願いします。
- ・ 非会員の方は事前登録の上参加費を納めることで学会大会に参加していただけます。非会員 (非登壇者) の参加登録の締め切りは **2021 年 2 月 23 日 (火・祝)** です。参加登録をされた方に振り込み案内メールをお送りしますので、所定のゆうちょ銀行口座に振り込みをお願いします。振り込みの締め切りは **2021 年 3 月 2 日 (火)** です。

【非会員の非登壇者用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/JgLVzabFRMnaFw126>

- ・ 会員の方も参加人数の事前把握のために、参加予定の方は事前登録をお願いします。参加登録の締め切りは **2021 年 3 月 2 日 (火)** です。

【会員用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/otwNM36vgpiFYAPR8>

4 参加方法

- ・ 参加登録済みの方々に対して、事前に Zoom の招待メールを登録メールアドレスにお送りします。
- ・ 会員向けには、会員メーリングリストでも Zoom の招待情報をお送りします。
- ・ 参加方法の詳細と当日の注意点についても招待メールと同時に お送りします。

5 主なスケジュール

	時間	Zoom 1	Zoom 2
3月7日	15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	
3月8日	9:30~10:45	自由報告 I (第 1 部会)	自由報告 I (第 2 部会)
	11:00~12:15	自由報告 II (第 3 部会)	自由報告 II (第 4 部会)
	12:15~13:15	昼食休憩	
	13:15~14:35	萌芽的セッション I (会場 1)	萌芽的セッション I (会場 2)
	14:50~16:50	シンポジウム	
	17:00~18:00	総会 (会員のみ)	控室
	18:10~19:00	懇親会	
3月9日	9:30~10:50	萌芽的セッション II (会場 1)	萌芽的セッション II (会場 2)
	11:00~12:15	自由報告 III (第 5 部会)	

6 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・ 報告 15 分, 討論 10 分です.
- ・ Zoom セッションにて画面共有機能を用いてスライド等を提示して発表することができます.
- ・ 当日配付資料は事前に提出いただきますと大会用オンラインストレージで共有することが可能です (提出方法については報告者に別途連絡します).
- ・ (司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください. 報告 12 分で 1 鈴, 15 分 2 鈴, 25 分 3 鈴を鳴らします.

7 萌芽的セッション報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・ ポスター等の報告資料を, 学会大会の概ね一週間前に提出してもらい, 大会期間中に大会用オンラインストレージにて参加者に公開します. 報告資料は最大 A0 判のポスターに準じた情報量を目安とします.
- ・ また, ポスター等の報告資料に基づいて, セッションの割り当てられた時間帯に Zoom のブレイクアウトルームにて発表をしていただきます.
- ・ 報告資料の提出方法ならびに Zoom のブレイクアウトルームに関する情報については報告者に別途連絡します.

8 問い合わせ先

研究事務局 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学社会学部 石田 淳

E-mail: jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学法学部 竹ノ下弘久

E-mail: jams.meeting70[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

3月7日(日)

11:00~12:30	研究活動委員会	Zoom
13:30~15:00	編集委員会	Zoom
15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	Zoom
17:00~19:00	理事会	Zoom

3月8日(月)

09:00 開場

09:25 開会挨拶 大会委員長 竹ノ下弘久 Zoom 1

09:30~10:45 自由報告 I

【第1部会】 移動 Zoom 1

司会 数土直紀(学習院大学)

1	現代日本における世代内職業移動の趨勢 ——労働力調査データの分析から——	麦山亮太(一橋大学)
2	Educational Selectivity of Japanese Immigrants to the United States: Evidence from SSM 1955 and WRA Administrative Records	Tate Kihara (Brown University)
3	戦前期高学歴ホワイトカラーの職歴の特徴	○渡邊勉(関西学院大学) 藤村聡(神戸大学) 山藤竜太郎(横浜市立大学)

【第2部会】 実証と方法 1 Zoom 2

司会 藤山英樹(獨協大学)

1	学術研究における分野親和性を測る新たな指標の開発	○高橋亮(東北大学) 海邊健二(東北大学) 鈴木一行(東北大学) 高橋さやか(東北大学) 武田浩太郎(東北大学) Hansen Marc(東北大学) 湯本道明(東北大学)
2	労働力調査へのオンライン回答導入の効果検証	前原庸司(総務省)
3	イベント・サブポピュレーションによる友人・知人数推定 ——新型コロナウイルス感染者数と東日本大震災死亡者数からの 推定——	辻竜平(近畿大学)

****休憩 (15分) ****

11:00~12:15 自由報告 II

【第3部会】 教育

Zoom 1

司会 浜田宏 (東北大学)

1	教育選択の数理モデルによる表現 ——社会学・経済学の視点から——	北村友宏 (慶應義塾大学)
2	進学機会格差と学歴達成格差 ——学校段階移行の階層効果と学歴の関連を記述する——	濱本真一 (立教大学)
3	到達階層・階級をめぐる二つのゲーム——一般化順序ロジットモデルを用いた高校の質的差異の効果の検証——	○成澤雅寛 (東京大学) 吉田航 (東京大学)

【第4部会】 実証と方法 2

Zoom 2

司会 瀧川裕貴 (東北大学)

1	欠損ありパネルデータの活用による交絡統制の試み ——交互固定効果モデルに関するシミュレーション——	○樊怡舟 (広島大学) 中尾走 (広島大学)
2	日本若年層の「スマホゲーム」頻度にたいする、遺伝子一塩基多型 (SNP) rs4680 の看過しがたい効果	○桜井芳生 (鹿児島大学) 西谷篤 (鹿児島大学) 尾上正人 (奈良大学) 赤川学 (東京大学)
3	衆議院選挙比例区における政党の選挙活動の定量的解析と評価 ——東日本大震災復興支援活動の効果を探る——	嶋田一郎 (東北大学)

****昼食休憩 (60分) ****

13:15~14:35 萌芽的セッション I

会場 1

Zoom 1

1	過去の奨学金が貸与か給付かは現状の格差にどう影響するのか?	百瀬由璃絵 (東京大学)
2	質的方法の比較——先行研究議論の上書き——	中澤香世 (早稲田大学)
3	ゴフマンのスティグマ論のゲーム理論的定式化をめざして: パッシング、カバリング、機転と相互行為秩序	木村邦博 (東北大学)
4	履歴書実験において人事を対象にする必要はあるのか	○五十嵐彰 (立教大学) 麦山亮太 (一橋大学)
5	推論的ジレンマが生じ得る議題の集合的決定の精度を最適化する票の重み付け	関口卓也 (理化学研究所)

6	フィールドワーク授業が地方定住に及ぼす影響 ——授業履修者のパネル調査データによる検証——	○堀内史朗（阪南大学） 松坂暢浩（山形大学）
7	日本のtwitterにおけるイデオロギーによるメディアオーディエンスフラグメンテーション	○瀧川裕貴（東北大学） 永吉希久子（東京大学）

会場 2

Zoom 2

1	学校におけるいじめの実態——Web 調査をもとに——	眞田英毅（東北大学）
2	勤続に伴う労働時間の変化	田上皓大（慶應義塾大学）
3	女性の世代内移動 ——非正規雇用から正規雇用への移行について——	LEE HANSOL（京都大学）
4	クラウドソーシングを用いたデータ回収と回収したデータの質の検討	伊藤大将（東洋大学）
5	科学的な価値判断にかんする要件について	志田基与師（横浜国立大学）
6	職業世襲と家族の親密度	三輪卓見（東京大学）
7	社会学研究における二重過程理論のインパクトと役割の検討 ——動機と正当化モデルとフレーム選択モデルを事例としたレビューを通して——	○尾藤央延（大阪大学） 齋藤僚介（大阪大学）

****休憩（15分）****

14:50～16:50 大会校企画シンポジウム

Zoom 1

「コロナ禍のなかの仕事と家族」

オーガナイザー：竹ノ下弘久（慶應義塾大学）

司会：藤間公太（国立社会保障・人口問題研究所）・松田茂樹（中京大学）

討論者：稲葉昭英（慶應義塾大学）・今井順（上智大学）

登壇者とテーマ：

1	コロナ禍における雇用と仕事	高橋康二（日本労働研究・研修機構）
2	社会階層論から見るコロナ禍の中の労働	申在烈（青山学院大学） 竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
3	コロナ禍と家事分担	西村純子（お茶の水女子大学） 斐智恵（桜美林大学） 藤間公太（国立社会保障・人口問題研究所）
4	新型コロナ・ウィルスの感染拡大が夫婦の出生行動に与えた影響	松田茂樹（中京大学） 佐々木尚之（大阪商業大学） 梁凌詩ナンシー（東洋大学）

****休憩（10分）****

17:00～18:00 総会

Zoom 1

****休憩（10分）****

18:10～19:00 懇親会

Zoom 1

3月9日(火)

09:00 開場

09:30～10:50 萌芽的セッション II

会場 1

Zoom 1

1	親の教育アスピレーションが教育的成果に及ぼす影響 ——Diagonal Reference Model による教育アスピレーション・教育期待・過剰アスピレーションの識別——	須永大智 (大阪大学)
2	The relationship between sex composition of workplace and women's career trajectory in Japan	池田岳大 (東京大学)
3	チスイコウモリの社会形成のシンプルモデル	○川村松吉 (東北大学) 三上大志 (東北大学) 加納剛史 (東北大学) 石黒章夫 (東北大学)
4	項目スキームに対応したダミー・コーディングとマルチレベル分析 ——平等化政策への支持態度に関する規定要因の分析を例に——	林拓也 (奈良女子大学)
5	継続社会調査におけるあいまい・中間回答の増加について	前田忠彦 (統計数理研究所)
6	芸術系学部出身者の社会経済的地位	○井上智晶 (東京大学) 三輪哲 (東京大学)
7	ハビトゥスは測定可能か——嗜好品の嗜好と摂取の区別から——	橋爪裕人 (たばこ総合研究センター)

会場 2

Zoom 2

1	DK 選択肢は「隠れ DK」を抑制するか ——個人情報に関する意識調査を例として——	山本耕平 (国際経済労働研究所)
2	社会ネットワークにおける多次元同類／異類結合の実態解明	鈴木伸生 (岩手県立大学)
3	学校信頼の規定要因に関する基礎的分析 ——「子どもの生活と学びに関する親子調査」から——	大崎裕子 (東京大学)
4	「多様な学習ニーズ」言説がもたらす大学進学への壁 ——「地域の高校」を捉える枠組みの導出——	田垣内義浩 (東京大学)
5	瘦身度と近代化・社会階層——日韓台中 4 カ国比較——	太郎丸博 (京都大学)
6	高校生のジェンダー意識とその後の職業選択・職場選択 ——「高校生と母親調査」追跡調査を用いて——	高松里江 (立命館大学)
7	マルチレベル SEM による映像品質評価への影響要因の検証	○塚常健太 (東京都立大学) 新井田統 (KDDI 総合研究所)
8	夫婦の職場環境と家事育児時間の関連 ——夫婦ペアデータを用いた検証——	田中西 (東京大学)

****休憩（10分）****

11:00～12:15 自由報告 III

【第5部会】 計量研究の諸展開

Zoom 1

司会 渡邊大輔（成蹊大学）

1	栄養表示を気にする消費者は誰か ——多変量解析による規定要因の解明——	小林光紗（東京工業大学）
2	日本企業は外国人を差別しているか ——サーベイ実験による検証——	○五十嵐彰（立教大学） 麦山亮太（一橋大学）
3	ツヨメでチャライとオラオラか ——逸脱規範の構造の計量分析——	○小林盾（成蹊大学） 荒井悠介（成蹊大学）

（備考）

1. ○印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
2. Zoom ミーティング招待情報, 大会用オンラインストレージへのアクセス情報は, 大会直前に登録メールアドレスならびに会員メーリングリストにて告知します.
3. ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください.

（変更履歴）

- 2021年2月5日 暫定版プログラム
- 2021年2月12日 確定版プログラム
- 2021年2月15日 確定版プログラム修正
- 2021年2月26日 確定版プログラム修正2